

1. 件 名：京都大学研究用原子炉（KUR）の原子炉設置変更承認申請に関する京都大学複合原子力科学研究所とのヒアリング（3）
2. 日 時：令和5年1月26日（木） 16時00分～18時00分
3. 場 所：原子力規制庁 10階南会議室
4. 出席者：
 - （1）原子力規制庁 原子力規制部 研究炉等審査部門
金子安全規制調整官、立元管理官補佐、加藤上席安全審査官、
望月安全審査専門職
 - （2）京都大学複合原子力科学研究所
教授 他1名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
 - 資料1：KUR設置変更申請の補正（主としてKUCAとの共用設備の記載に係る部分）について
 - 資料2：研究用原子炉（KUR）の標準応答スペクトルに基づく基準地震動（Ss-10）に対するSクラス施設・設備の耐震安全性の簡易評価結果について

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	じゃ、そうしましたら、KURの設置許可の、ヒアリングの方始めたい と思います。まずは資料1からですね、東大の方から説明の方、よろし くお願いします。
0:00:13	はい。京都大学の三沢でございます。
0:00:15	どうぞよろしく願いいたします。
0:00:17	前回のヒアリング昨年の11月1日ございまして、その時に設置変更 の特に共用設備に関するところ記載適正化等について、
0:00:29	説明させていただいたところいくつか指摘いただきました。大きく分 けて二つございましてそれについて回答させていただきたいと思いま す。
0:00:39	まず1番目として共用設備の取り扱いというところなんですが、特に放 射性廃棄物の廃棄施設に関するKCKURの共用設備の取り扱いにつ いての確認をすることと、
0:00:53	いうことで、とさせていただいたところでございます。
0:00:57	で、その時、ちょっと過去のところで振り返りになってしまうかと思 いますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:04	保持生物廃棄設備に関する共用設備としてはですね、そこに書いてありますように、減容処理装置、第1固形廃棄物倉庫、第2固形廃棄物倉庫、
0:01:15	一体廃棄物分析を放射能測定装置、放射性廃棄物処理等の定置監視装置、水モニターを除くということで申請させていただいたところがございます。
0:01:28	ちょっと大変申し、申し訳ないんですが我々のところでですねちょっとそのあと、もう一度検討させていただいてですね、その減容処理招致というのが、
0:01:39	放射性廃棄物の建屋にあると、ということがございまして、その関係もございまして、やはり共用設備としてはですね、
0:01:51	以下のものを追加したいと考えているところがございます。これにつきましては11月のヒアリング時にご指摘をいただいたんですが、
0:02:01	3月ですね、これ我々もちょっと簡単な考え方の資料を作ったところに、
0:02:08	いやそういうところもあったところがございます。このヒアリング資料が別でございまして、それを元にですねもう一度考え直してやらせていただいで、結果的にはですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:19	誘導灯、消火器、火災感知器並びに火災新規、
0:02:25	屋内消火栓、それから排気系統と、
0:02:28	いうこれらのものについてはですね、
0:02:33	投資経営支援の提案の共用設備と言う部分に追加したいと考えていると ころでございます。
0:02:39	で、これがですね、
0:02:44	まず、
0:02:46	だから機器設備についてこういうふうに入れるということになりますの で、例えば、建物ですね、廃棄物処理棟の処理工場及び、
0:02:56	排気改質の共同で共用であると、いうことを明記したいと考えていると ころでございます。
0:03:02	これがですね今回の
0:03:05	共用設備に関する考え方の変更点。
0:03:08	いうところでございます。
0:03:10	なお設備についてはですね、明確に、これはこうこうというところを、 その別紙のところに書いてございます。ちょっと別紙のところを紹介さ せていただきたいと思います。例えば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:23	別紙のですね、別紙1の月1という最初のページでございます。
0:03:28	安全避難通路等というところございまして、例えばそのところのテンパチにはですね、
0:03:34	放射性廃棄物処理棟及び第2固形廃棄物倉庫の誘導等はKUCA臨界実験装置と共用であると。
0:03:41	いう形で明記したいと、いうふうに考えているところでございます。
0:03:45	なお建屋についてはですねちょっとこれ、書き方がちょっと微妙っていう言い方変なんですけど、あんまり明確な書き方がございませんので、
0:03:56	これはですね減少施設の本文の記載でございます。本文の記載のところに、試験研究用等原子炉施設の位置と、
0:04:06	いう項目がございます。その中にですね、主要な原子炉施設としての建物等は次の通りであると。
0:04:15	ということでKC明け、
0:04:18	頸癌の設置衛星には書いてあるところございまして、そのうちですね、そこにアスタリスクをつけたもの。
0:04:26	これについてはですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:30	臨界実験装置共用であると、いうことを明記したいと、いうふうに考えているところでございます。
0:04:38	で、別の2ページ以降については個々の設備についての共用についての記載というところございまして、例えば中央管理室に対する記載というところがそこに、
0:04:51	と書かれておりまして、特に原発の方にはですね、
0:04:55	ところ、構内モニタリングステーション及び周辺監視区域モニターの警報設備、火災受信機系、非常警報放送設備は共用であると。
0:05:05	いう形で書いております。ちょっと言い忘れたんで、この車自体で書いてあるところがですね今回修正を加えたというところでございます。
0:05:16	それで気体廃棄物の廃棄設備に関する記載、それからその次は固体廃棄物の廃棄設備に関する記載。
0:05:25	屋内監視用の主要な設備ということで、放射線モニターに関する記載。
0:05:31	それから、別の4ページについては、構内モニタリングステーションに関する記載。
0:05:38	通信連絡設備に関する記載として、火災対応設備に関する記載というところで、それぞれ原発等に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:50	共用であるということを明記したいと、いうふうに考えているところでございます。
0:05:54	最後は散水設備ということでございましてこれについても共用であるということを評価させていただいてるところでございます。
0:06:01	以上がですね今回、
0:06:06	11月1日のご指摘をいただいたことに関する、バイトからの回答ということの1番目でございます。
0:06:13	ちょっと2番目てしまいますが2番目のところはですね、これ、3の現地より3についてのご指摘というのをいただいたところでございます、
0:06:24	ここですね、
0:06:26	添付3の記載の第について確認することと、いうことを、ご指摘いただいたところございまして、21年12月の申請の書類には、
0:06:36	変更工事に要する資金の額及び調達計画を記載した書類変更に伴う資金及び調達計画が必要していると。
0:06:46	ということで、今回の設置変更についてはですね、今のところ工事というものは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:52	伴わないというふうに考えておりますので、添付3の記載はこの通りで問題ないというふうに考えているところでございます。
0:07:01	以上、こちらからの答弁からの回答でございます。よろしく願いいたします。はい。ありがとうございます。
0:07:08	何かご質問、
0:07:11	規制庁モチヅキずっと何点かを進めさせてもらっていいですか。
0:07:15	今回新たに廃棄物処理等の中で、誘導灯とか消火器とかですね、追加されてると思うんですけども、
0:07:28	他に
0:07:30	何でしょう。
0:07:31	追加漏れたようなものっていうのは、
0:07:34	ちょっとないのかなっていうのが、ちょっと我々ちょっと思っ て、
0:07:41	提案ですねえ、その廃棄物処理等に関するすべての設備っていうのを よっと示してもらって、共有の有無っていうのを、
0:07:53	すべて確認させてもらって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:57	それで共有しないのであればこのお手元の資料の中段には水盛田っていうのは、言うところみたいな、K U C Aは廃液貯留槽を必要としないので共有整備が動いてるっていうような、
0:08:12	ちょっと説明をいただかないと、ちょっと先日のヒアリングからもうちょっといきなりこの五つぐらいが出てきてるんで、少し確認させていただきなっているのがあるんです。
0:08:25	多分それ、事前にあれなんすなんかこう、東大さんで、講師料、
0:08:30	廃棄物処理等の設備を買っていこう。
0:08:33	すべて抽出して、これが
0:08:36	共有これが共有ではないっていう整理ってされてるんですか。京都大学三澤です。ご指摘ありがとうございます。まず廃棄物等々の設備等についてはですね、これ保全計画等で何をやらなければいけないということで設備は全部勉強して、
0:08:54	あります。その中で、これを抜き出したというところでございまして、すいませんそこの今ですね、マルバツという表を作ってるわけではちょっとございませんで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:06	保全計画のリストを見ながらですね、これは必要ということで、させていただいておりました。確かにご指摘の通り、廃棄物処理棟他にあるのがですね、
0:09:18	例えばよう交換の処理装置とか増刷という増額の処理装置とか、そういうのが幾つかございます。確かにそれがK U C Aの共有でないっていうのは、
0:09:29	説明を追加するということであればそのような資料を作って出していたいただきたいと思いますので、今ご指摘ありましたように、保全計画的なところからまずリスト、機器のリスト全部、
0:09:44	やって、マルバツという表を準備するということでさせていただきたいと思います。いや、規制庁関野発の理由をちょっとあれば、
0:09:56	書いていただいと、なぜなのかと。はい。ちょっと向かうので、はい。そこちょっとあわせてお願いしたいと思います。はい。
0:10:03	承知いたしました。
0:10:06	はい。利用、ここにちょっと書いたような理由をですね、つけたものを諸票として作りたいと思います。ありがとうございます。
0:10:16	あと二つ目なんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:19	はい。はい。
0:10:22	弊社の関根と別紙の1のところに、項目設備本文の記載、添付しなさい っていうふうにあります、例えば、今回の安全避難通路等っていうと ころなんですけども、
0:10:36	原発Gの記載には放射性廃棄物処理棟及び第1で、
0:10:41	待機所相互っていうのは二つの誘導等、共有ってあるんですけども、こ の設備の設備の欄とも廃棄物処理等の誘導等と書いてあるんですこれ第 2固形第2固形廃棄物倉庫も、
0:10:54	ここに書かれる。
0:10:57	ではないかと思われるんですけど、その調査等、
0:11:03	※印のところ、この設備の部分、こっちの2、第2固形物廃棄、
0:11:11	廃棄物倉庫もう流動等提供ってあるんで、おっしゃる通り受けてると思 うんで、他にも2ヶ所ぐらいなんだろう。
0:11:20	本文の記載とテンパチの負債のところで、共有ですと言っておきなが ら、設備のところに、負債されてないのが意見されましたので、ちょっ とそこら辺の整理、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:32	してもらって、資料として整合がとれるようなものにしてもらいたいと。
0:11:39	はい。
0:11:45	私からさ、最後、3個目なんですけども、
0:11:48	それを1ページ目なんですけど、
0:11:51	下から運用面のところに、またというところで、その廃棄物処理等の処理向上及び背景、
0:11:58	控え室の共用であることを明記というのがありまして、まず廃棄物処理棟処理工場っていうのは、こういったような設備でどこにあるのかどうかっていうのが、
0:12:10	ちょっと不明なので、
0:12:12	説明していただきたいんですけども。はい。京都大学、三澤です。
0:12:20	本日この参考図のところにですね、
0:12:26	開発、10、
0:12:35	申し訳ありません。ちょっとですね、名称が以前から使っていたのがずっとこうありました。
0:12:48	これ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:49	参考図 29 というところをご覧いただきたいんですが、すみません、57 ページです。
0:13:04	はい。まず放射性廃棄物処理工場といいますのは、一番大きなメインの部屋でございまして、建物ございまして、これは本体の建物になります。
0:13:15	このところにですね現有処理装置それから蒸発濃縮等の設備が全部この中に入っていると。
0:13:24	いうところでございます。それから廃棄回数についてはそのすぐ横にある建物、これが引き返すという形になっておりまして、
0:13:33	もともと K U R のですね設置変更申請書のところにですね、その建物の主要な
0:13:43	建物と、
0:13:44	いう中にですね。
0:13:46	この処理工場、それからあと排気管室というものを明記していたところでございます。
0:13:54	わかりました。
0:13:59	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:00	ありがとうございます。私からは以上になりますが、衛藤、ちょっと、
0:14:06	町長は藤です。ちょっとですね共用設備を各どういう考え方に基づいて、
0:14:16	伝えているのかっていうのを確認をさせていただきたく。はい。まず1ページ目のですね、
0:14:23	①の人たち、1、この11月のヒアリングではこのポツ1、
0:14:30	大戸猪瀬っていう上げております。
0:14:33	それで、一番上はそうなんですよ。
0:14:36	それで2番目が倉庫等である意味、建屋がおっきな作り、
0:14:44	それで一番下になると、今度、笥八鍬君、中岡があるでしょ。
0:14:48	という形になっていて、
0:14:51	何て言うんすかね。一番大きい。はい。で、すべて共用設備があったらその大きい範囲で区画し、
0:15:00	処理等になってくると、部分的にすべての設備が共用設備ではないので、設備をエントリーしていくっていう考えに基づいて、
0:15:12	記載をしているっていう、そういう理解であります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:15	はい。協議3でございます。まず基本的に今のご指摘の通りだと思えます。まず、廃棄物処理構想コートは倉庫建物がありまして、
0:15:25	有賀ランドの何も無いところなんです、そこに我入道と何かあるだけという、
0:15:33	それに対して、処理棟といいますのはまず立山がありまして、その中に様々な機械がありますということで、あるんですが、その中でKUCAが必要としているのは、減容処理装置という一つのみ。
0:15:50	でございます。装置としては、
0:15:52	処理をする装置としてはそれ一つですね。で、
0:15:56	ちょっと言い訳になってしまいますが、前回考えたときはですね、その装置が1個あれば、この共用という形にしておけば、いいだろうというふうに考えていたところでございますが、
0:16:09	やはり装置が入っている建物というものも、その装置をある意味、
0:16:17	困っているところですのでそれが必要だろうということで、一番下に書いてありますように処理工場を共用設備する。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:25	処理工場を共用設備にするとなると、処理工場からの誘導と消化器、消化器ですね、等の子供、必然的にそこに入ってきてしまうということで、
0:16:37	入れたところでございます。ご指摘の通りまず枠を決めて、その中で枠全体に必要なもの、これは例えば誘導とかそういうものだと思うんですが、
0:16:49	それをリストアップして、それでは、実際に動かすための処理装置等については、K Cで必要なもののみをピックアップしたと。
0:16:59	いう考え方で、これをやったところでございます。
0:17:02	で、先ほど望月さんからご指摘あったように、ちょっとその中に他にどんな設備があって、その中でこれをリストアップした理由というのについてはちょっともう一度
0:17:13	精査して精査といいますか、資料として整理したいと考えております。
0:17:18	以上です。
0:17:22	金城カトウです。
0:17:24	この考え方は、
0:17:27	言いました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:28	それで、先ほど言った処理、もう処理工場、要するにある意味、共同設備が入っている。
0:17:38	ある意味、部屋ですよ。はい。そこを、その共用設備するっていう考えをもっと借りるんですよ。
0:17:48	おっきくした場合は、廃棄物処理棟が共用設備っていう形になるんじゃない。
0:17:55	それは違うんです。
0:17:57	うんた兄弟のカマエでございますけども、その議論我々中でもですねまずそこから今回いろいろなものが増えたというのもですねもう1回この共用の考え方をとか、
0:18:09	あと当然申請の時にいろいろそういう表の間、県警も出してますし、それが例えば設工認とか、そのあとの保安規定とかですね、そういうものにも
0:18:21	記載されてますので、そういう総合的に考えることと、
0:18:25	どこまではほぼ包絡させる必要があるか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:29	今の話は間宮さん言ったようにものは、多分、共用の設備があると、本来はそこだけだったんですけども、やっぱりそれはやっぱりこれは、はい。回復がついてるとか、
0:18:39	最後は、これが建物で覆われてると。
0:18:42	その中に当然誘導灯があるわけですね。ほんで誘導灯はもう、施工のときにも目標って書いてあるので、当然それは我々ちょっといろいろ、そのあと調べた時に出てきて、
0:18:52	そうずっとそういうものにこう、他も整合させようとする、
0:18:56	今の排風機廃棄回数も、そこにその原油装置から出てくる廃棄がその排風機によって外へ出されてますので、それぞれ関係するだろうと。そうずっと、そこに入ってる。
0:19:07	廃棄返すという部屋も何か要るのかな。
0:19:11	またそこはですねちょっと今まず加藤さんがその考え方を示して言われたんだけど、一応、少しそういうふうに言って、どこまでをするかの最後の原子力研究所そのものって、それはないとは思うんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:25	一応その処理工場と廃棄開発とか、処理、廃棄物処理棟というのもメン テ定義があるので、それからいくと、やっぱり今のは減容装置があるも のと廃棄開発背景が入ってる。
0:19:38	その二つが、そういうものは、
0:19:41	それを覆ってるものかなということで今は、
0:19:44	作ってきたんですけども、この辺は非常に、
0:19:47	ちょっと法令もあれで、どこまでよその、
0:19:51	それすべてとけば一番クリアなのかもしれません。それ自身は妨げるも んじゃないんですけども、
0:19:56	ちょっと結構に中央管理室の中央管理室が一応、それとその中で、出向 の対象設備が、
0:20:07	それらっていうのは、この設備に関して、結構、対象の設備になって、 共用大規模で一部は、
0:20:19	それでどんどんこうやって、ずっととか消化管のきちんと施工にとって 共用って書いてあるからいいでしょうっていう考えがあるのかもしれな いんですけど。そうですね。この考えに基づいていくと、
0:20:31	どこまでの分を入れていくんだっていう話いらっしゃると思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:37	あの、
0:20:38	京大のカマエですけど、おっしゃった通り、
0:20:41	少し曲げ言及していただいた例えば、設新規性基準の時の対応であったり、設工認、
0:20:48	ですねそれと、当然それを例には保安規定なんかも、
0:20:52	そその中にまた誘導灯とかが、共用設備と書いてあってですね、それはちょっと見落としたところがあって、そうすると、
0:21:00	それでも今書いてあるものを必ず入れないかと、それとプラスその、どこまでやるかっていうときに今のような考え方で、ちょっと整理をしてきたということで、ちょっとこれ越智、
0:21:10	ちょっと我々はまだ、
0:21:11	どうすべきかというところをちょっと、100%クリアになってないところがございますので、確認なんですけど、今回ここにポツ、19ぐらいに掛けていただきますと、これらの設備のこれ結構人を取った時ですかね、結局を取った時に共用設備、
0:21:28	っていうのが明記されているっていう理解で。はい。全部じゃないですか。正確に申しますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:34	誘導と消火器、火災感知器屋内消火栓。うん。これについては、共有と いうことを、地域性後の設工認の中で、
0:21:45	明記いたしました。で、背景等についてはですねこれ一番当初の
0:21:52	設置申請にちょっとさかのぼるまでちょっといってしまいますので、当 時共用設備ってあまり明記しませんでしたので、これについては
0:22:02	明記しておりません。はっきり言いまして、例えば先ほど減容処理装 置、これも当然明記してない。
0:22:09	いうところで、当時ですね、設工認では明記してなかったというところ でございますが、NCAに入れたと。CMを入れるということに変えて しました。書いておりますので、
0:22:20	これは今回はもうはっきりね、共用ということを明記したというところ でございますから、設工認ではないけどっていうところ。
0:22:44	何かご質問、
0:22:51	横断するってのはどのぐらいって、
0:22:56	正直それほど難しいものだと思っておりますので、来週の中頃には出 したいというふうに思います。今日あれですから、
0:23:05	2月1日めどということによろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:12	適正化レベルっていうところから、求めをはじめ、
0:23:17	提案の
0:23:19	中で補正、
0:23:23	ここまでのいろいろやりとりは、
0:23:26	なかなかまとまってない。
0:23:29	一つの見方としては、労金、
0:23:34	を、
0:23:36	続けて、
0:23:39	プラスで、
0:23:43	議論がまた出てくるかもしれないので、
0:23:46	そこはちょっとこちらでもちょっと整理しながらんですけど、
0:23:51	あまりちょっと進捗が、
0:23:52	芳しくないときには、
0:24:01	確認ですけど、
0:24:07	適正化ということは、これまでの許認可の関係で、
0:24:13	共用設備とすることで、例えば、畑野大前赤池坂内。
0:24:18	審査は済んでる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:22	はい。京大の伊佐です。先ほどちょっと申しました通り、誘導灯とかその辺りについては、2017年の設工認の時にですね、これはもう明記しているところでございますので、
0:24:34	それを今回、設置申請の中に明記した、すると。
0:24:38	ということでございますので、その議論は、積んでるというのは、私どもの認識。
0:24:45	ただ、もう一度ですねここははっきりさせた方がいいというご等もあるかもしれませんがそのような形でご審議をお願いしたい。
0:24:56	超えているようにも見えたりして、そこははっきりさせておかないと、
0:25:03	あまりないかな。
0:25:05	はい。ありがとうございます状態ミサワです。記載の適正化というのは元は正すと、過去の設工認には書いてあるけど書いて何かこういうのを設置するには書いてなかったと。
0:25:16	いうところで記載の適正化という言葉を使わせていただいたんですが、もしかするとそれ岡超えてるかもしれないということについては、
0:25:23	ご指摘の通り、
0:25:26	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:28	はい。拠点にそうです。
0:25:31	当時ですね、ちょっと17年の話になりますが、当時衛藤共用設備とい うのと、ここについては、あまり、
0:25:43	正直あまり詳しい議論。
0:25:45	はされなかった。
0:25:47	こういうものと、いうところで当然共用設備だからお互いに何か悪 いことしないようにという話は説明させていただいたんですが、
0:25:57	あまりその時は論点にはならなかった。
0:26:00	いうところは、
0:26:02	はい。
0:26:07	よろしいですかね。
0:26:09	とりあえず記載の適正化資料の1につきましては、以上となりますが、 引き続きです。
0:26:16	資料の2ですね、
0:26:22	関係の簡易評価についてですね、調剤の方の説明の方よろしくお願 いします。はい。
0:26:28	東京大学の玉井でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:30	一応資料ヒアリング資料2として今日は作って参りました。この件につきましては昨年の、
0:26:36	10月の12日に2回、ヒアリングをさせていただいて、その時の建物についての少し評価、評価といいますか、試算結果をお見せしたんですけども、
0:26:47	あと、Sクラスの施設は幾つかございまして、それについては建物を回避する、返して応答すると、人力入るということで、その辺の
0:26:58	方針だけを少しお示したんですけど結果というかももう少し詳しい方針と方法とその結果については、次回ということだったのでちょっと時間かかってしまって申し訳なかったんですけども、
0:27:09	一応前回、
0:27:11	そこにも、この資料にも最後に、
0:27:14	参考資料として二つの説購入を書かせていただきましたけど、
0:27:19	この中で、我々新規性基準の後の設工認としてその4として、Sクラスの
0:27:25	耐震

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:27	安全性については評価だけでしたけども、出させていただきます。建物はBクラスなんですけどSクラスがあるということで、波及的影響の観点から、
0:27:37	同じように基準地震動に対して評価をしたと。
0:27:40	今日は建物のところも少し資料としては、重複するものを今日差し込んでございますけども、
0:27:47	今回SS店という中という、新たに追加されたということで、これちょっとレビューですけども、この今日、同じ資料を置いてますので、
0:27:56	8ページに図1として基準地震動というものを、
0:28:01	もう一度このスペクトルレベルでございますけども、出させていただきます。これが我々キーワードのS s 関係、すべてこのS s 10が出るまでは9個ありました。これは断層モデルによる方法とか、
0:28:14	あと応答スペクトルの方法って、クロボツ実線で書いてある実線という
0:28:20	滑らかなあれが、これが

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:22	S s 湾ということで、これ基準、すいません、応答スペクトル法による で、基準地震動でして、あと、波打ってるものがこれ国のやつあるんで すけど、
0:28:35	これがS、断層モデル方法ということで、断層モデルの方法は少しモデ ルによっていろいろこう、
0:28:42	組成変わるのでこういう形になったものになってます。今回、赤で少し こう太く書いたやつはこの追加されたS s 10 を基準地震動という土俵で 比べたもんです。
0:28:53	これをいただけるとN S E Wってこう水平方向はかなり伝習議題に渡っ て小さいからこれだけだともう今回S 10 は基準にならなかったんですけ ど、
0:29:02	アップダウンの方見てあげると、少し苦労
0:29:06	これをですね、S S 湾を少し上がってる非常にこれ0.1 秒よりも下です からかなり工種は、
0:29:13	10 数H z とかですね0H z とかっていうかなり高所のところで若干、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:18	この黒を上回ってるということで、我々基準地震動はもう当然このレベルで、セレクションしますので、これはどうしても S s 追加せざるをえないと。
0:29:27	ということで設置変更した。
0:29:29	して一応、これまでのところ
0:29:32	スペクトル府から出てくるいろんなあれもうこれで妥当だと、これに、それに対する地盤の安定性等も評価をして、
0:29:43	S S 店が増えても問題ないということは、お示しをしてほぼ審査会合では了解られたと。
0:29:50	ということでその次は後段規制ということで、S s が大丈夫かどうかと。
0:29:55	ということで我々もこのはあと承認されたら、粛々とその対応しようと思っただけですけども、まず簡易評価でもいいので、この薄い地震動で、S s
0:30:06	S クラスの施設が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:08	大丈夫かということをも、成立性を示して欲しいということで前回、 まずは、簡単にお湯をお話をして、今日はもう少し突っ込んだ簡易、簡易方法等は一緒なんですけど、
0:30:20	ちょっと資料を作ってきたというところでございます。それが元のところへ知らせると書いてございますけども実際、2番、簡易評価。
0:30:28	というところで、Sクラスは、そこにありますように生体遮へいであったり、
0:30:33	燃料種炉心支持構造物であったり一次系の直下の配管であったりというのがもう、この層でございます。
0:30:41	それで、
0:30:42	これはすべて建物の中に収まっているということで、当店地震力は建物を返して入るということで、
0:30:49	当然その今のS s そのものを比べるわけじゃないで、
0:30:54	まず我々のところは、基準地震動が-180メートルのところ、岩盤の上で定義されてますので、これ建物直下まで地震動を上げまして、これも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:07	この前の審査会合では、了解を得てます。それを入力地震動として建物に、の応答計算をするということで、これもこれも前回お示ししましたが、
0:31:17	この図の図の方、9ページに、
0:31:21	一つは関連法ということで、
0:31:24	これシリンダ以上の円筒型の建物ですけど、これをベースマットとあと1回、1課が一番大きな壁が、スラブがあってあとはもうほとんど吹き抜け、この真ん中に今日は書いてませんが生体遮へいがあると。
0:31:36	生体平和をこの後に言いますが非常に剛な建物構造物なので、バスだけは入れて相互作用がないと。
0:31:44	ということで右のように出店系のSway-Rockingばね、これよくやられる方法ですけど、これで入力を上下水平を入れて、各支店の応答を求めると。
0:31:56	それで最初の床応答を求めてその床応答が、そこに設置されているSクラスの設備に入りますので、それを比較をしてどうするかと。
0:32:04	ということで現在は最初はまだ当然その地震力に対して、設備がどうかということ、所詳しく評価をして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:13	接合にまとめたわけですけど今回は簡便法ということで、この前からずっと議論になってる有効ポルト倍率法ですね、大戸倍率法。
0:32:22	これちょっと1ページの一番、1の一番最後になお書きで書いてますけど、これはもう釈迦に説法で、ここにありますように、前回のS s 1 から9までの、
0:32:35	まず一番簡単なのは、1から9までの床応答が、
0:32:39	今回S s 版等県が超えなければ、当然包絡されるわけですがOKだと、例えば超えたときに、こういう方が、
0:32:46	実際、S s 1 から9までで評価した最大応力に対して、
0:32:51	その超え方を掛け算して、それでもなおかつ安全面一応資産を下回らないと。
0:32:56	ということで簡易的に評価をするということですが応答倍率法ということで、注いで今回もそういうことを、
0:33:03	前提に評価をしてきました。
0:33:06	2番、2ページ目にはそのSクラスの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:09	いろいろここにもものが違いますので、非常にシンプルな話と、少しダイナミックな計算をしなければいけないとかですね、であるんですけどまず一番簡単な方としては、
0:33:20	一つ目二つ目ですね、これ生体遮へい、先ほど言いました1階に、
0:33:25	載ってる大きな構造物ですけども、これ、当然先ほど言いましたようにこういう周期が要するに40ヘルツということで非常に剛な建物構造物ですので、
0:33:33	これは、
0:33:35	岡元、先ほどの倍率法でまず床応答が、
0:33:38	5ですからもうそれ、床応答の最大加速度ですね。
0:33:42	それが、
0:33:43	S s 10 が、これまでのS s よりも、
0:33:47	大きいか小さいか。
0:33:49	ということで、これを示すのは6ページです。
0:33:52	この表3に、
0:33:54	表3にS s 1 からいうまでの、その床応答の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:58	これ、1階床です。建物1階は地下トレンチでもあるんですけど今これは1階床を示してますけど、
0:34:04	これをいただくと、先ほど言いましたように、このS s 10というのはもう進みけどかなり小さいので、
0:34:09	もう右の方、左二つはN S E Wかなり小さいと思いますけど、ただ、アップダウンについても、S s 2から9まで断層モデルに比べればちょっと大きいんですけどS s 湾に比べれば、
0:34:20	若干小さくなってる。これ、先ほどの基準地震動では、S s 範囲も大きかったから基準地震動したんですけども、
0:34:27	最終的にはこれ、非常に地震動ですべてが決まるわけじゃなくてそれから入力地震動、今度は建物の応答という二つのフィルターを通過しますので、最終的には非常に高周波なので、この建物、
0:34:40	建物というのは地盤ですね、我々岩盤じゃないので、原発のように固くはないので、結構逸散減衰って地下に現地で逃げていく。
0:34:48	力が多くということで、特に高周波にはそれを聞くということで、結局は採用とか見ると、S s 湾のほうが大きかったと、もうこれ結果論なので、基準地震動としては大きいんだけども実際、この

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:00	建物という意味では、S s ワンでもう決まってる、ということがこれ、 後でわかった話ですけども、
0:35:08	そういうことで、
0:35:10	1 階に向かうとはもう、少なくともこのこれまでの S S、水平はもう当然小さいですし、
0:35:15	鉛直も、この
0:35:18	設備の小さいので、これについてはもうその床応答レベルでもう問題ないと、ということがわかるという、これが一番先ほどの応答倍率法に行くまでの、
0:35:28	ですけども、
0:35:29	それが 2 番も同じようにですねこれあの指示構造物もこれ、生体遮へいの中にありますけど、まあほとんど生体遮へい抗体なので、中にあるものもほとんど 1 階床応答と同じように動く。
0:35:41	ということは、そのそのものが剛体であればですけども、ただ、支持構造物もここにはちょっと入れてませんけども、一応 20 Hz 以上ということで、この辺の施設設備が
0:35:52	こういう周期的には非常に剛だということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:54	これも同じように、生体返済を返してますけど、生体遮へい自身がもう剛体なので、同じ力がかかるということで、床をと1階の床応答から計算できると。
0:36:05	ということで、これも先ほど言いましたように、
0:36:09	上下動もう少なくとも、SSRちっちゃいので、もうこれは、一番(1)と(2)は、の設備については、
0:36:17	その時点でもう安全上問題ないと。問題はこの三つ目の配管なんですけど、これ、
0:36:25	ちょっとですね文章だけではあれなので、
0:36:29	ちょっと本当はこの設工認を、の、
0:36:32	この見ていただいた方がよかったんですけども、ちょっとお待ちください。
0:36:43	これ、
0:36:44	一応いいぞ。
0:36:46	こういう設工認で、これこっから、ここの上が全体ですこっから一次系が、入口出口、出口と入口があって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:57	迫のこのサポートでここが今直下弁直下パ部分って言ってて、この、ここにバルブがあってですねもうバルブを閉めればいいということで、我々 S クラスの定義としてはここの第 1C サポートから上を、
0:37:11	S クラスでそっからした熱交とか、いろんなポンプとかこうありますけど、これは何、B クラスだということで、一応連続体ですけども、それは一応そういう考えを持ってやって、
0:37:23	実際やるときは、これ聞いてやるわけいかないので、実際はこれエスクロー S、基準地震動でこれゆすってね、それでまず評価はここだけ。
0:37:32	当然ここはどうなっても別にいいわけですけど大丈夫なんですけど、評価の対象はここだけ、この B クラスの入力分これは S s の 4 分の 1 ぐらいの、これはもう、
0:37:42	ガイドに書いてあるので、それで S D をというのでやると、やった時の評価はここだけであるということで、
0:37:49	やってますこれ新新規制の時もやっぱ設工認です。
0:37:53	それで、
0:37:55	それで最終的にこのモードですね。
0:37:58	今剛体だとか何とか言いましたけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:01	このポール承認してますけど、6 ページの表 4、
0:38:08	ですね、これをこういう解析をしますと、かなり複雑な 3 次元的な話ですけども、一次から一応 70 まで今出してます。もっと工事もあるわけですが 10° 10° の分だけこれモードが出てくるんですけども、
0:38:20	事象、一応外力として、重要なのはこんなのもとんて次のモードなんですけども、
0:38:27	例えばこれ 1 時見ていただくと 56 Hz ぐらいだと、それで 20.7 Hz、その中に 13 で 20 Hz 以上が一つの剛体の定義だとすると、やっぱこれ今みたいに、
0:38:38	膨大だということで、床応答の、単に加速度だけでは処理できないと。
0:38:43	ということで、実際、もう少し高度な簡易評価といえどですねもう少し高度な話をしました。
0:38:50	それをどうするかということ、ところが大戸倍率法は、ていう。
0:38:53	使うんですけども、
0:38:55	これ見ていただくと、これモードって、
0:38:58	あれなんですけど、これ一次モードで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:01	モードっていうのは、ここだけは入れるものじゃないんですね、全体の話なんですねサポートがあって、だから、これ、黒が、もともとの舞台ですけど、これ赤がモードモードを示してます。だからこの一次モードってのはこのこの立ち上げのもう配管がこう入れるモードなんですね。
0:39:17	これ。
0:39:18	このモード図、こういうターゲット、みんながみんなここどっかに動いてるわけじゃなくて、
0:39:22	一番周期の短い。
0:39:24	進藤瀬野氏の大きい一次モードっていうのは、この建てたんですねここにいたポンプがついてると思うんですけど、一次系の上上がった、そういう配管が降雨、バーッとこう揺れるモードです。
0:39:37	ですから一次が一番これが一番揺れやすい。
0:39:39	これ、そうすつとほとんどS F A M動いてないんですね。だから、本来は一次もここだけを切り出すと、多分もっとこういうで動いてると思うんでほとんど剛体かもしれません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:50	でもそれだけを切り出してやろうとするとちょっと大変だったのでとりあえず全体の形でやってやりました。ただちょっとお示ししましたかったのは、
0:39:59	いかに今の計算が安全側だということを示すために、このモードを見てみると、一次はこれサニーなんかも、どっかのところがここずっと動くところだけ、もう二次モードなんですね。
0:40:09	そういうもんなんですね。建物もこうやって一次モード、これ二次モードってありますよね。それと一緒にこんだけの、
0:40:16	他重要なものが大河内解析すると、もう小中が動いてるやつが何も。だからここは、
0:40:22	二次モードですから何Hzカネコ、動きやすいわけですね。ところがこれまだ動いてません。ほとんど図研が出てないので、
0:40:28	もっとこれはウォーターに近い。
0:40:31	本当はもうここで切って、先ほどのように交代でやってもよかったんですけど、その当時はそこまでせずにもうでだけで解いてということで、
0:40:39	どの工事もだからもっとこれ工事の、
0:40:41	これ今6時までです70までですけど、もっとこれ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:45	工事までいくと、ちょっとしたここが動い。
0:40:47	もう出てくるかもしれんそれでここだけ切り出したときに、どれぐらいのこういう出荷ということであれかもしれませんがそこまでちょっとやってみてません。
0:40:54	そういうものだというので、その次に何をやるか。
0:40:59	ということで、そういう、
0:41:02	必修典型ではできないので、もう多重
0:41:05	たモード系なので、これ、よく言われる問題じゃないすって言って、
0:41:09	各次数の力をルートインスケアで出すと。
0:41:14	という方法があるんですね。その中では、当然 1 時間 20 から 30 あってやっぱり一番励起しやすいものが本当はあるんですね。
0:41:22	建物は当然 1 が一番入りやすい。
0:41:25	ですね。
0:41:26	二次は何かそれですから建物なんかの地震応答解析するときは、スペクトルモーダルでやるときは、ほとんど一次がもしケースが大きくて、もう一次だけやるとけばほとんど計算できるというぐらいなんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:38	そういうものなんですけど、それで、これもモデル安心を使っています。
0:41:42	そこにありますように、
0:41:45	問題なしで作るときは、
0:41:48	ここはちょっとややこしい話ですけど、
0:41:53	これ、10 ページ 11 ページってあります。
0:41:57	これスペクトルこれ床応答スペクトルですこれちょっと
0:42:00	配管は地下なので、ベースマットの床応答でさっきは1回でしたけど、 これ主、応答スペクトルです。は形ではありません。だから、
0:42:09	左の方へ行けば、短周期ですから、大体これが最大加速度、ちょっと数字わかりませんが、10 ページだと水平は 10001100 g a l ぐらい。
0:42:20	のサービススタティックなそういう力です。ただ、これ周期特性持っていますので、地震はの周期特性と、当然
0:42:27	共振すると多くなるということでこういう周波数特性持ってるわけですね。だからこの配管系に対してはこの
0:42:33	このよくよく水平図からいくと、0. 何秒ぐらい。
0:42:38	だから、先ほど 5H z か 46H z ぐらいで、結構

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:42	応答が大きくなってますねこれ。そういうこれは地震動の周波数特性と、
0:42:48	がある。どういう周期の建物、周期の設備にどれぐらい力を与えるかっていうのが応答スペクトルですから、こうなる。
0:42:56	それで、先ほどの、これが水平動です。吉井衛藤は先ほど言ったみたいに、もうはなから今までの、これ、
0:43:03	赤、赤で太いのがこれまでのやつです。
0:43:06	これも非常に保守的になってるのは、
0:43:09	配管系で地下にあるんだけど、
0:43:11	1階からサポートで使うやつと、
0:43:14	ベースマットが掴んでるやつあります。それ入力はこちらから入ったりここ入ったりすんですね。もうほとんどもう1回目、ベースマットもほとんど剛体なので、あんまりこう位相差もなくこう揺れるんですけど、
0:43:24	とりあえずプラスちょっと大きい小さいありますので、今回の配管系に入れるステップ力は、
0:43:32	上にも大戸1課1階1階と1階の応答スペクトル面いろいろ出して店舗崩落させます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:40	だからもう非常に極限的な入力を考えてると思っていた方がいいんですけども、それがこの 10 ページの赤です。水平動です。
0:43:49	ちょちょこと他に地下とか 1 階の何とか書いてますけど今、地下 1 階、
0:43:56	地下 1 階と 1 階を包絡するのでこの太いピンクですね上記 4 崩落って書いてますけど、
0:44:02	違うと。
0:44:03	1 階のスペクトルを全部包絡させて、書いたのがこのピンクの太いやつです。
0:44:08	これ計算も、このスペクトルを使って、モーダル指数やってまして、水平はもう見ていただいたようにこのブルーが今回の
0:44:18	S s - N 中による、その両方の包絡ですから、これと比べると、
0:44:24	それとその、
0:44:25	破線とか縦軸に書いてますね。
0:44:28	これモードですモードのモードの集結周期です。
0:44:31	先ほど 7 時までありましたけど、5 時までしか書いてませんが、そうすと、非常に、これも 0.22、0.3 ぐらいが一番、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:40	0.16 ですか。だから、0.0. 2 秒ぐらいが一番
0:44:45	一位だったと思うんですけどこれが今は点々の右側ですね。それから、 この
0:44:50	10 ページでいくと、縦縦に高周期ごとにこう書いてますけど、一番短い 破線の点線近いやつが、一次モードだから 0.16 何ぼ、0.2 秒以下です ね。
0:45:01	それと 2、二、三十次ところ書いてますけど、
0:45:04	実際モーダル安全使うのはこの発生のところの、加来スペクトルのピー クです。そしてその応答値で使います。これが地震外力になります。地 震力に変換されています。
0:45:15	これ見たらもう、緑が少なく水平に対しては、全く S S 中はパワーを持 ってないと、いうことがおありだと思えます。ただ、
0:45:25	この右に、11 ページに、その上下動、
0:45:28	を描きました。
0:45:32	これは 10 ページ、11 ページですね、これ上と下がちょっと下は少し広 げただけで話同じものです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:39	全体を見ると見にくいのでということで、相馬を上の方は、先ほど水と同じように書いたんですけど、そうすると、
0:45:47	1とか2はもう多分赤の、より緑小さいのでまあいいんだけど34になってくるとちょっと青緑がちょっと多くなってる。
0:45:55	赤井よりも、
0:45:57	出てきますよね。それじゃ、断層じゃないのでちょっとピークがずれるんだけどより保守的考えると少し大きいということで、
0:46:04	あるモード。
0:46:07	に対しては少し今回のSS店が大きくなると。
0:46:10	これは先ほど言いましたように、
0:46:14	本当配管の方の応答が入ってますので、床応答が小さくても、今度それで配管給すると、この配管の固有周期への影響入ってきますから、
0:46:22	若干上下動もちょっと逆転をして、やはりちょっと多くなると。これも繰り返しますけど緑は全部小さければ、
0:46:30	もうさっきの話でもモーダルもくそもなく終わったんですけど、
0:46:34	ちょっとやっぱり34次のモードだといえど、若干大きくなってるので、これ詳細に計算すれば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:41	答えずっと出るんですけども、今回簡便法と、
0:46:45	ということだったので、
0:46:47	今どうやったかという、これ下の方をちょっと拡大して見ていただくと、左二つぐらいがちょっとこう、緑が多くなってるところがありますよね。
0:46:56	これちょっと数字出してないんですけど、ちょっと赤と比べると
0:47:02	T23、ナンバー1、
0:47:06	2.3倍ですかね。
0:47:08	数字を計算するとですね、その文書の中にずっと書いてまして、
0:47:14	2.3倍、米1.3倍ですね、ぐらいなってる。
0:47:19	これは床応答に掛ける倍率だと思ってください。ただ、
0:47:23	繰り返しますと、これは春ある高次のモードのところだけです。
0:47:28	本来はこのもう言うごとにそういうものが入ってんの決まるんだけど、それしようと思うと、調査計算しなきゃいけないんで、
0:47:34	もうここの工事のその1.3倍が全部1.3倍だと。
0:47:39	だから緑が全部赤色言っちゃえば大きいと、どのモードにおいても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:44	これは一番極限ですね、保守的な形では、あそこにもそういう保守性持たして、もう簡便法ということなので、これでペケだったら、もうちょっとし、詳細にすれば絶対そんな大きくなりないんでしょうけど、
0:47:57	最大限考えても、このここの 2.3 倍を、
0:48:00	各モードにおいてもすべて 2.3、1.3 倍だと。
0:48:04	いうことをしますと結果が 1.3 倍なるわけですね。
0:48:07	応力計算、当然入力が 1.3 万なわけですが、結果も 1.3 倍になると。
0:48:11	これは先ほどの遊佐大戸倍率法ですから、
0:48:15	そうしますと、
0:48:18	それで計算するとその文章にありますように、
0:48:23	それともう一つ飄々ですね。
0:48:26	7 ページ。
0:48:28	2、これスクラムと B + の一番応力がたくさん、一番多く出てくるところの評価ですけども、
0:48:35	これを見ていただくと、一次応力と魅力って熱とか入れたものもそうなんですけど、そうすつと応力比っていうのはもうこれ、9 人の記事で

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>すがこれ 1 を超えれば駄目だと、いうことなんや逆転してますので、あれなんですけど、</p>
0:48:49	<p>逆客数が安全率ですねだから 2 月の 5 倍あるということなんですけどこれに 1.2 倍、3 倍かけても、</p>
0:48:56	<p>1 を上回らないということで、この、まず S クラスは大丈夫です。</p>
0:49:01	<p>B クラスのもうちょっと応力が大きいんですけどこれは 1.3 は 3 割ぐらいたと、1 を超えないということで、</p>
0:49:07	<p>非常にこれ極端な、</p>
0:49:09	<p>もう、もうほんまに上澄みだけを取っていったって話なんでもう多分これ、</p>
0:49:13	<p>ちゃんこの時と同じような計算すれば、もう絶対もうそんなにはないと思うんですけどほとんど変わらない結果とかあると思うんですけど今日は、そうじゃなくて簡便法ということなので、</p>
0:49:25	<p>そういうことをして、それが 3 ページに文章では書いてございます。</p>
0:49:31	<p>それで一応は一次系の配管と、B クラスですね B プラスは特に今、求めてないんだけどただこういう取周期が他でない時は S s の</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:41	半分の、何とか出て、そのS s - Dを使わなきゃいけないので、S D中のS sに関係しますので、それ評価をしたと。
0:49:50	ということです。それでも大丈夫だったと言う事でBクラスですけどそういう別な網がかかっていますのでやったということです。あとすと制御棒案内管、
0:50:00	これ多分ご覧になったと思いますけど上からずっと、
0:50:04	ある意味で結構途中でサポートをとってませんので、ふらふらしてるんですね。そうずっとその連合体なんて絶対無理で、木下計算してこれも固有値解析をして、周期求めているんですけどそうするともう全然、
0:50:18	運営水道が絶対じゃなくて、数Hzというふうな同じ話、そう。そういう意味ではこのモデルハウスやっています。ただ、ですから、横方向ですね、これが非常に大きくて条件方向はもう管ですからほとんど剛体みたいなもんですけど、
0:50:32	ですから水平に関しては先ほど言いましたような面も言っていますが、SS店は小さいので、もう全然問題ないと。
0:50:39	条件をもうちょっとおきなれますけど、今の話からいくと、もうほとんど剛体に近いので問題ないということで、案内管についても、簡易的には問題ないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:51	いうモデルはしてませんが、もうこれは門前払いできる話かなと。先ほど言いましたようにスペクトルが小さいからという、
0:50:59	あとプールですけども、シューズ燃料プールっていうのは、
0:51:03	これ建物の横についてる。
0:51:06	あれは、ベースマットを共有してるので、建物と一体になってますので、上側、原子炉建屋としてあるんですけども、プールのところはもう縁が切れて、もうベースマットと一体になった形なので、もうほとんど建物の応答と、
0:51:21	同じだと、その入力はですね。そうすると、もう先ほど言いましたように、
0:51:25	今回のプランは、
0:51:29	S s チェーンの入力というのは、
0:51:31	S s は小さくなりますので、床応答としては、ですから、特に安全上は問題ないと、そういうくくりで、これ、すべて
0:51:44	設工認の時の、
0:51:46	方法を踏襲しながら、
0:51:48	少し簡便的な、より保守的な、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:51	やり方をしたと、もうほとんど計算で計算をしてません。
0:51:55	今のスペクトルを比べて 1.3 倍ぐらいかなというぐらいの話です。
0:51:59	それで一応、今日お持ちしたんですけども、
0:52:03	もうこれで一応、清瑠世。
0:52:05	S s 10 が承認されてこれをもとに後段規制で S クラスがどうかっていうことを、にはおそらくこれ、
0:52:13	配管ぐらいはもう一度ちゃんと正解なものをするともっとこれは完全な と思うんですけども、必要であればそういうことも、あとはベースマ ットレポート自身が小さいので、
0:52:24	建物の応答とかなんかが、前の新規制の時にやったことが、例としてい ただければ、
0:52:31	方法論とかですね、やった結果が正しいという前提であれば、
0:52:36	床応答だけで食えず、判断できるものは、特に詳細な
0:52:41	構造計算とかはどうなのかな。
0:52:44	それはこれ事業者の勝手な今の、
0:52:46	理解ですけども、これは今後、設工認でどういう形にするかってのはま たご指示、ご指導いただけたらと思うんですけど、今日

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:56	前からずっと言われてるかんぽと床をと応答倍率法、
0:53:01	この二つのキーワード。
0:53:03	前回やった、新規性であった考え方を、
0:53:07	踏襲した上での評価だと。
0:53:09	そういうふうにご理解いただけたら。
0:53:12	ちょっとべらべらとしゃべりましたけど以上です。はい、ありがとうございます。
0:53:18	規制庁も続けて私からちょっと
0:53:21	どうぞ、わかりやすく、
0:53:29	これ、別な表なんですけど、
0:53:34	おっきくして拡大したのが、
0:53:40	まず名称でされたので私の方で、赤木とかですね、あとは何が対象になってるかっていうのをまとめたのが、横棒になっています。うん。それで、
0:53:52	館野さんの資料がちょっと確認させてもらいたいと思いましたが、当然あったのがあると思うんですがちょっとありまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:01	早速ですけども、まず確認内容全体に対してのことと、あと各Sクラスの施設設備に対してのそれぞれの
0:54:11	考え方とかそういったものを示している。
0:54:15	ございます。
0:54:16	ただ前確認の中全体の話なんでもう、まず1ポツですね、対象の今回の各施設と設備っていうのが、この
0:54:26	2 図 12 の A 棟の 1-1 どの階層に、
0:54:31	等を、
0:54:33	やるのかっていうのをちょっと明確に示して欲しいと思ひまして、
0:54:40	項目ですね。
0:54:42	その部分も、それと生体遮へいとか、当社、
0:54:47	放射光とかがあって、このF1の落第にあって、
0:54:51	あとは燃料要素ですとか、その心支持構造っていうのはこの、要は申請者の裾施策の評価する中のその階層のどの階層に当たるもので、おそらくこれ以下やと思うんですけども、
0:55:06	やったのかっていうのをちょっとこの資料からだ読みきれないんで、この表の5でもだったりでもいいんですけども、それぞれのスコアの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	スクラ設備がどの階層にの道路の階層にあるのかっていうのをちょっと示せれば、
0:55:21	示して欲しいなっていうのがあります。表題の考えですけど多分この図を使うと使いにくいので、我々これは多分、今の
0:55:33	故須田当間多分設備の話がどこにあるかっていう話あまり寸法的なことじゃなくて盆地的な話でいいと思うので、これ我々断面図であったり、もう少し生体遮へいも入って炉心も入ってるような断面図とかありますので、
0:55:45	それを使って、する方が、これに掛け声の大変なので、それは難しいんで、要はその泥層になりますか、計算結果に剥がれてるので、塗装に、どこどこにこのフロアのものがあるのかっていうのを、
0:55:59	ちょっと明確に示してもらってないと、説明の内容の江藤河上のこの話。
0:56:07	衛藤。
0:56:09	しかし、今回、
0:56:12	建物1階の統括部分についても確保されてるんじゃないかと、うん。それはちょっとわかるように入れてもらいたい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:22	わかりました。はい。京大のカマエです。
0:56:25	それもちょっとお話ししますが非常にシンプルな建物で、この設備も当然1基、ベースマット要するに地下に設置されてるか、生体遮へいの中にあるか、生体遮へいは1階に行ってるということで、
0:56:37	その図を作る図を見ていただけると、それがどこで支持されて、地震力としてはどっから入るかっていうことが多分ご理解いただけると思うんで、それは
0:56:48	わかりました理解しました。はい。規制庁の鈴木さん、そんなにポンチ絵でいいので、どうのこうのというか、
0:56:56	はい。
0:57:03	次、規制庁モチヅキ杉井の2ポツですけども、
0:57:11	いわゆる今回の保有周期はこういう、周波数っていうのもかなりポイントになってくると思うんで、これも各クラスのは、江藤設備で、書いてるものだったり書いてないものあたりがあるので、
0:57:24	例えば55なので絶対問題ないんです。ほぼ冒頭、
0:57:30	交代と考えているとか、そういった形で借り入れるものもあったので、具体的に設備の固有周期を記載して欲しいと思っています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:42	はい。多分、これは設工認の時にもそういう話をしていますので
0:57:49	わかりましたそれぞれ、
0:57:52	まず田子医師がいるわけじゃないんですけどブルーのプールなんてのは こういう主義の問題じゃないんですけど今、床をお返しして入力される というものは、当然こういう周期がない状態なのか。
0:58:03	ある周期を持つてるのかっていうことで入力が変わりますから。わかり ました。はい。はい。
0:58:12	次ですけども、これはちょっと今回に関する話でちょっと興味方なんで ちょっと念のためなんですが、
0:58:18	これさ、ちょっと保守性を持った簡易評価っていうのがあるんですね。 うん。データをやったんですけども、これですね。ええ。
0:58:29	何でしょう。それまでの何かこう、
0:58:34	1 から 5、1 から 5 ですね、今回、6 章と 1 からもまとめているんですけど も、資料でいうと (1) からいらっしやって、
0:58:43	(1) から (5) ですね、設備計画範囲のところで保守性を持って、その 簡易簡易解析を最大のところで評価してると思うんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:56	等々五つ、例えば1と2、生体遮へいとかのブルーとあと燃料素振りとかあとNSAS欄の江藤応答加速度、
0:59:06	とか、3番の衛藤配管関係ですと、その包絡するスペクトルですから、
0:59:14	その4番のそれを調整、それをちょっと所長制を、
0:59:20	生業3名っていう数ですと、SS湾からSSKの最大値とか、頭の最後の、
0:59:29	プールだと、代表的な結果とかって形で、要は、評価してるものが、その統一性がちょっとなくて、
0:59:38	ASRの加速度で評価したりそれが操作効果するスペックであったり、最大値と代表値とかっていう話で、表現がちょっと変更。
0:59:49	バラバラやるんで、それ、それは球団カマエですけどそれは評価方法が変わるので、当然表現はバラバラであるものは床応答の最大加速度で決まってしまうって話と、
1:00:00	あるものは周期を持ってるので、これは単に床音だけの最大加速度が決まらない。だから、モーダル孔室をやると、その中でも保守的に床応答を考えると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:11	そういうやり方は当然あるし、プールのプールについては、先言いましたように、建物と同じベースマットで一体となった建物ですので、もう建物自身の応答の中に含まれてるということで、
1:00:23	今回、建物の応答がS s 中では、飯沼よりも小さかったということではもう入力が小さいということですから、もう安全量は、安全性はそれぞれ、
1:00:33	それでも、
1:00:35	担当されたりということで、茂呂の新藤田井の振動の特性、
1:00:41	そういうものを、を考えながら評価をしてるので、当然この表現は変わってもしようがないと思うんですけども、
1:00:48	ちょっと私もそれをどう書こうかなと思って理解してた中子
1:00:53	今のこのお話した中ではなかなかこううまく私の言葉が伝わってなかったかもしれませんが、
1:01:00	一番簡単なのは、S s 中の床応答の最大加速度が、今までの9、九つよりも大きい小さいか、そこでもう門前払いされるわけですね。
1:01:11	それが地震入力になるわけですから地震荷重になるわけですから小さければ当然、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:15	安全上は問題ない決まってるわけです。
1:01:17	ていうのが一つ。それは生体遮へいであったり、それにぶら下がってる中にある剛体支持構造物であったり、何かやったりということで、今、お話をしたわけですね。
1:01:28	で、一次系の配管、んついては、やはり剛体と言えないので、床応答だけの最大加速度だけでは決まらないのでということで、モーダルアナリシスの考えの中で、
1:01:41	より保守的な、
1:01:43	スペクトルを、
1:01:45	があると、それをSS店だと思って入れたときには、
1:01:50	どれぐらい応力比が変わるかということをお示しをして、それが医師を上回らないということでは安全率が1以上である。
1:01:58	ということが、簡易的にはいえると。
1:02:00	ということでお示しをして、実際はモデルアライアンスをやらなきゃいけないので、モードごとの強い係数を求めて実際の最終的な応答を求めなきゃいけないんだけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:09	今のやり方も非常に極論をやってるということで、一番大きなところをやってるわけですから、一次だともっと小さかったですよね。一次は、 応答が、
1:02:18	緑が赤よりも小さかったですね。でも緑が反転して、1.3倍アウトして やったわけですから、それはそれはもう刺激係数がどれが大きい小さい 関係なく、すべて1.3倍してるわけですから、結果が保守的だと。
1:02:33	成立したモチヅキの趣旨は、もし同じD違う要望を使っているのであれば 統一して欲しい。
1:02:41	まずはそうなんですよね。そうですね。
1:02:44	京大さんからの説明は、別にそういうわけではなくて、
1:02:50	違う意味で使ったら違うんですよ。
1:02:53	カトウ。
1:02:55	はい、そうそう。
1:02:59	じゃあ、今までもそういう保守性を持ったカイイン解析をしてますよっ ていうのは、
1:03:08	この表現では、いや、玉井です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:13	電話も多分、個性もくそもないんですね。無学校の大きい小さいかな判断ですからもう全然、報酬もくそもないんだけどただ、
1:03:24	一次系の配管。
1:03:25	ですね、全部含めて今、
1:03:28	そこで私保守性という言葉使ったんですね、そこは今、何度も申し上げてますけど、それが具体的な保守性なのかどう保守的なのかどうかっていう質問であれば、少し、
1:03:39	最終的にいろんな計算をしてみないとできませんけど、何で保守性を持ってるといのが、ただ、
1:03:46	入力を、
1:03:48	すべてのモードで一番大きなやつに 1.3 倍にするということは、地震外力を 1.3 倍してるみたいなものが、そうすると S s 10 を今まで大きかった、非常に震度よりも、
1:03:58	3 割大きい地震荷重を加えてると思えばいいわけですね。表現は、すみません資料の表現を、江藤根本的な考え方はわかってるんで、資料の表現を何かこう統一してできないものかなっていうのをちょっと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:14	僕は言いたくて、また多分その今の説明だと、多分そのそれぞれがくれているものが違うから、この辺がバラバラになっちゃうんですっていうのは何ですけども、
1:04:26	何かいろいろこう右往左往だったらこう違う表現されたんで統一することができないんですかねっていうのちょっと、
1:04:34	衛藤、沖木下。
1:04:36	勝ったんですよ。うん。逆に、統一できないっていうことであれば、そうなそうだななんですけどねっていう説明で、理解するんですけども。うん。はい。
1:04:46	ちょっとちょっとごめんなさい。今からちょっと、私自身もまだそれちゃんと理解できてないので、
1:04:52	それを部長さんわかるようにするため等どういうことをすればいいのかっていうのちょっと事例はします。
1:05:00	12 ページの、
1:05:02	3 ポツの括弧にある燃料要素、はい。
1:05:07	これは評価、これは
1:05:10	S F 法じゃなくて、この

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:13	下回ってるからいいよねって話ですよ。で、(5)。
1:05:17	また後、0 ですね、プールですね。はい。これも算を下回ってるんでっ ていうことで、評価のやり方は同じ。
1:05:26	でいいんですよ。
1:05:28	うん。違うし、それが応答と、入力の違いのそういうおっしゃる通り、 今回は S F A でやっているものと、そうじゃなくて、完全に派遣しても らってるからって言う二つだけ、2 種類です。
1:05:41	(2) は (5) は同じ評価の仕方をしていて、それで、(2) はどういう 表現をしてるかっていうと、
1:05:49	f s はを下回っており、書いてあって、(5) は、
1:05:54	諏訪 S E の中の代表的な結果を下回ってるって書いてあって、これは何 カー。
1:06:00	特に、
1:06:02	代表的な結果をされてる。うん。うん。だからここはすいません。
1:06:08	もし、同じことをやっていって、評価をしてるようには見えますけど、こ ういう評価が、表現が入ってるから。うん。何か違うじゃないですかっ てそういうことだと思う。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:18	表題のカマエです。加来新居のS S案を下回ってるってのはこれ鉛直と水平両方ともがS A S 4 あったんで、一つは、S s版が今もうちょっと対象になった後、上下動が、
1:06:30	水平どのくらい、他のやつを比べてS sは大きいですよね。
1:06:34	これ、水平はもう当然、1から9の%2から9の方が、大きい部分あるんですけども、ちょっとそういうところでちょっと書いたんだけど、正しくは書いてるつもりなんだけどちょっとそのわかりにくければ、
1:06:46	同じような今の、
1:06:49	おっしゃったような、田部さんおっしゃったような、
1:06:53	あれで困って書こうと思って書けるのか、すみませんちょっとちょっとあの、今まだちゃんと理解や、
1:07:00	材料的な結果を使ってる評価のパターンと、
1:07:04	代表的な結果を使ってないパターンがある。
1:07:08	この代表的なんて書いたのはこの前のこのレポートすいませんそれもちよっとね私もあれでこれ、昔この最後に、
1:07:16	ポールはこれがきいてんですね建物もそうです。これ見るとS s 1 から全部計算してないんです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:22	本当に出してないんですよ。そう。そうなんです。だからこれをちょっとあれすれば、代表、これ11とか、3とか何とかが大きいですから、1から9まであるんだけど、そこで建物応答が、
1:07:35	いや、計算した分だけさ、結構大きいやつだけこう全然わからないというのをやってるんだけど、ごめんなさい、すいません。
1:07:48	正式で正確に書いてあったもんで総括方のやり方としては、(1)と(2)は同じ考え方になって、はい。
1:07:58	型学校もちょっと見ているんだけど、対象となっている評価結果と違いますと、私は違うんじゃないかとか、その方はSNAを少し使ってください。おっしゃる通り、
1:08:11	こういうのは、そのSLAの中で、下回ってるっていう、もうこれはそうでおっしゃる通りです。
1:08:18	ちょっとところ、ちよるマイクを使っているのって方(3)だけっていう、そうです。
1:08:25	(4)は従ってるっていう。そう。だから、だから安全とか議論してんのは、3だけなので、そこだけですいません。あとは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:38	スクラムの方がちょっと違いますけども、応答で比べたり入力で比べたりとかその中 S s 1 から 9 まである、ある部分だけで比べたり、当然そんな大きいやつですから、みんな比べる必要なくて、という表現がちょっと違ったので、
1:08:53	結局 1 から 9 までの大きいやつを比べてるんですけども、表出してるのがこうやってさっきの建物みたいに、その中の局負担が大きいやつだけを、S s のこれだと、
1:09:04	用語だと 1 というだけ、1 概上下大きいので、そんな一応 2 とか 3 とか、表に出してない。これがもっと小さくなるだけの話ですからね、代表的なって。
1:09:14	そうなんですよ。本当に多分一番、このコメントを出して、その趣旨は、
1:09:21	代表的な結果なんですかっていうところだと思うんです。それが最大値とかって書いてくれると、結果と比べて下がって、じゃあ、
1:09:32	今日の画面、そこちょっと私も、
1:09:36	気になった、どうかどうかなと。これ全部 1 から 9 まで書いてあったら、同じように書いたんだけど、これ今更なんかできないので、これど

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	うしたら良いかわかってもらえるかなと思いながら、ちょっとそっから大きなやつだけをピックアップしたと。
1:09:49	そういう意味でそういう意味で代表って書いたのがどうぞ裏目に出たかもしれない。すいません。
1:09:55	そういう意味です。わかりました。であれば、
1:10:00	意味が違う。そうですね。はい。はい。
1:10:03	わかりました。
1:10:06	続きまして個数の 34 ですが、今回それぞれの (1) から (5) まで、衛藤修周波数ヘルス。
1:10:17	と量が感染してるんで、できればそろえていただくと非常にわかりやすいかなっていうのはちょっとお願いできたんですが、そうですね。できればその分なんですかね、周波数。
1:10:31	こういう周波数はこういう周期って高周波ってって別にどっちでもいいんだと思うんだけど、伊勢教諭、統一するという意味はわかるので、
1:10:41	よく言われるのが例えば 20Hz 以上の方をやっているんで

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:47	唱和するのがいいかもしれません。そこまでは、周波数に統一します。 うん。うん。
1:10:56	そっちであれですね。削減すると、グラフの集金の対応とスペクトルはもう周期なんで、一般には、
1:11:09	うん。
1:11:11	これなかなか周波数書かれると、
1:11:14	慣れてる人は間違っで見られたとか、
1:11:18	グラフが周波数。
1:11:21	野手そしたら周期にしましょう。別にHzっていう剛体のところ 20Hz なんてのはそんなたくさん出てきませんので、
1:11:29	周期に統一します。
1:11:38	次へとそれぞれの各施設のことなんですけど、まず生体遮へいから (1) の、まずそれぞれ生体遮へいとか、放射光とかでそういった場所 とかいって示してないですかね。
1:11:52	これはねもうセンター社員の小中新居。これ、何でこういうこと書いて ある生産者社員、この今の意見5というのは、何か、貫通工場ってそう いうツリーがあって、そのものはもうほとんど完成が受けないので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:06	だから、ないことによって生体遮へいが当然ありますよね。開口管、そういう意味で、この配管、この様子大きな、
1:12:14	健康、これは生体遮へいのモデル化に、
1:12:18	入れて、
1:12:19	より詳細な計算をしてるんですけど、そういう意味では、この一応Sクラスの中にこの健康とか書いてあるんですけども、これはどっちかというと、それ自身の、もう慣性力というよりは、
1:12:30	そこを洗うことによる塑性他社へのっていうふうに思っていた方が、
1:12:35	特に生体遮へいの計算なんかもそういうふうにして書いてあるので、1個1個の受験高はどうかって、
1:12:42	いうことは、計算もしてませんので、はい。ちょっと
1:12:47	これ南米のやつを設工認の時に使ってる
1:12:51	考え方なので、
1:12:53	言いました。だから、ただそれはどこどこはないでっていうのは、ありますので、
1:12:59	結構、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:01	こうこうこういう計算を、
1:13:02	これ今の簡単な正解ですがこれ実際は、30年で計算をしてる、より、より詳細に、今回も簡易法ですから単にあれですけど、この時は、単にスタティックに計算するだけじゃなくて、こういう応力集中が当然間出ますので、
1:13:17	こういうことで穴の空いてるところはこの実験孔のところは、開口部を考慮して、こういう安法でモデル化して、
1:13:24	いう計算をしてるのでこれを見ればどこどこにこの穴が開いてて、それで実験孔の図もありますよその今のポンチ絵じゃないですけど、
1:13:36	多分今説明されて大体わかったんですけど、まず β 線っていうのがこうなので、まず必要な情報としては、南海のフロアについて、
1:13:46	深津っていうのができますようになってきて、こういう書き方していると、何かあなたは別の清田尻駅がないところにまたついているんじゃないかっていうのが、多分生まれて、今の質問になっていると思います。
1:13:59	それで生体遮へいの地域、これについてもきちんと評価に入れていますよっていうのが今、金井先生の説明だったと思うんですね。うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:08	ですので、きちんと生体遮へいっていうのがこうで、どこに設置しているかっていうのがわかれば、ここの質問は解決するものだと思います。
1:14:19	ちょっとどういう考えでもここの、これは生体遮へいを貫通して設置されていることから、その安全性は生体遮へいの安全性を持ってって、耐震
1:14:29	世帯への安全性ってのはその貫通部を考えて、
1:14:33	形でやってるということを書いたつもりなんですけども。
1:14:37	まあさ。
1:14:38	それ、それ、ここの表現なのかどうかわかりませんが、
1:14:43	もう少し何か、
1:14:44	それ感じでいいですよ。それはもう先ほどのどんな感じになってる。 はい、わかりました。わかりました。それで、はい。はい。はい。
1:15:03	イメージができたら、
1:15:06	多分 2 番目ですね、これを説明あったんでちょっと赤で書かせてもらったのでちょっと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:11	ありますが原子炉建屋 1 階応答、1 階床応答加速脳波計の最大加速度を評価するので、耐震安全性に問題視する根拠ってのは、ちょっと説明させてもらってしまったので、9000 カマエですけど、先ほど岡元
1:15:29	バイス総合と一緒に、5 体であれば、当然深尾深尾等の最大加速度が当然入力
1:15:37	うんしんどくなるわけですから、だからそこだけの評価すると、剛体であればですね、出んということの問題なしとするのは単にその最大加速度を S s 10 と、
1:15:48	他のやつと比べるだけで、
1:15:50	O K だよという、そういう意味で、
1:15:54	根拠はそれだけです。再々値が大きい小さいか。
1:15:58	その下を書かせてもらったんですけども、
1:16:07	あとは A 棟、四つ分ですけども、これも S s 版との比較をエンキューされてるんですけども、
1:16:18	例えばここで言うところの先生の E W 水ヘルプが 979 ってなってて、最大で言うと、P W のところは、
1:16:29	979 なんで、S S は

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:33	最大ですという説明としては、そういったお考えなんですね。
1:16:40	えっと、
1:16:41	この3名と、
1:16:43	うん。
1:16:47	一部でしょ。一部規定だなというだけが、素案より、
1:16:52	大きい上げがあるんだけど、それを考えて、
1:16:56	それはいいですかってことです。そうですね数点が369のあのね、ちょっとこれちょっと私、京大のカマエですけど、
1:17:07	ちょっとこれ設工認、見ていただけなかったんですがちょっと私、
1:17:11	これは今も知久さんの話と同じで、正しくて、プランが平成大きいんだけど、水平は他の大きいやつあるよねとかって言って、政府案だけと比べて云々という話はわかります。これだけだと。それで、
1:17:25	本来
1:17:27	ちょっとこれ設工認のこともちょっと引用したかったんですけど、最終的に雪子の設工認はこういう、
1:17:34	こういう値の中で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:36	いろいろと水平、E W N S アップダウンで最大値があります。その中で、一番大きい取りをして、
1:17:44	ですから、本当本来だとこれ、
1:17:47	建設はアップダウンだけ大きくて、
1:17:49	それ、それに水平は、例えば、S s 6 だと 897 とかありますよね。ただ、実際の応力計算は、耐震を評価をするための地震荷重としては、
1:18:02	お聞き取りをしています。
1:18:04	だから、
1:18:05	上下動は 610 を使い、そうじゃないものは何とか使えるということが本当はあるんですちょっとそういうことをちゃんと定義してないので、
1:18:14	雪子にはそうしてます。最終的に、
1:18:17	すべて膨大なのでスタティックでやってるんですけど、その時の地震荷重、これ震度に直し直してますけども、
1:18:24	そういうものを上下と水道国当然組み合わせますねこれ 2 方向同時ですから、そのときは、大きい方取りをして、震度を決めてますので、
1:18:34	今のご質問、
1:18:36	ウエス一番要望だけで、水平はどっかが大きいと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:40	それが、それをついていう話になると、みんなやってみないとわからない ということになるので、でも実際の応力計算は、
1:18:50	大きいすべて大きい条例を取ってきてやっていますのでちょっとその辺も う少し、それに関係するところは、そういう説明をするようにします。
1:18:58	さっきみたいに床応答だけで門前払いじゃなくて、何かいうところは、 それも関係しますので、
1:19:05	ちょっとそれ、
1:19:07	この資料に言いますと、質問の中のサイトの中に入れて、示します。す いません。たまたまこの鉛直成分が一番SSR-5大きかったんで、そ こを代表的に取り上げて、企画するような、
1:19:21	今資料の9なんてもうそうじゃなくてちょっとその最大値をまず、盛り 込んでやってやっていくってことですね、計算しますというのも、 以前の計算の地震荷重が、
1:19:34	今回のSS湾へ設備いうすべてがかかったときよりも小さい大きいとい うことを示せば、今回の衛生上は問題ないってことになるわけですよ ね。
1:19:45	今上下動だけには言及せずに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:47	そういう辺もあわせて、どんな荷重で設計したかということ、
1:19:52	お示しすると。
1:19:53	多分、S s 中は大丈夫ですと。
1:19:57	すいませんちょっとそれ、
1:20:00	そういう設工認を引用してやります。
1:20:04	ごめんなさい。ちょっと今のところを具体的に言うと、表 3 の中では制限については、F 4979 を機械、アップダウン建築本部だったら 695 を使って、
1:20:15	過去の説明になっているという理解はそういうことです。すいません。
1:20:25	から、
1:20:27	夜、
1:20:30	とも、
1:20:35	ちゃんとデータを下回っておりっていう、そういう阿蘇スキップしてるんだよね。今単に鉛直だけを比べてどうのこうのって言ってましたけど、
1:20:45	これは参事、
1:20:51	電話エスワンプロセスの形成。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:57	延長延長の最大値を比較、比較して下回っており、
1:21:03	これで、
1:21:04	これもカマエさんの1人はもう、そのS s 法案が水平も鉛直も、
1:21:12	ほかにより小さいという、これはこう書いてあると思うんですけど、
1:21:15	大丈夫ですね、まだそういう。ただ
1:21:19	どこでしたっけなんか、今本さんおっしゃったやつは、もうちょっと関係するんだけど、
1:21:27	うん。そうですね。
1:21:31	これを比べる設備等すべてに大きい当然施設2から9あるんですけども、もうすべて置いて、下回ってるってことを比べるためには、伊勢市が多分ターゲットになったと。
1:21:43	というのは2から9というのは、上下と小さいので、
1:21:47	セリアは非常に大きいんですけど、はい。ただ、2方向で考えなきゃいけないという意味では、逆に言えばこれ、どっかがS Sはが、
1:21:55	10よりもちっちゃければ、この議論は通らない。はい。そうですね。はい。もうちょっと、
1:22:00	もっと踏み込まないといけないんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:05	生命てると。
1:22:09	97、
1:22:10	97、89 です。
1:22:14	4 連動の定期 S R S 地域だからどっちかの間違いです。ないですね。そ うですね。だから水平成分のと、
1:22:25	鉛直の 6 という値 0 ですね。はいどうぞ。
1:22:29	これを下回ってるんでっていう表現でいいですね。はい。いや、すいま せん。実際積極性はそうしてるんですけど、ここはもう小谷 S S ワンと S u を比べたら、
1:22:42	当然
1:22:43	みんな小さいですよ。
1:22:45	はい。はい。だからもう当然おのずと、当然 1 から 9 までは前の設計 で、その中で最大値をとってますから。うん。はい。だからもう、ここ はもう、1 と 10 を比べて、
1:22:58	全然問題ない。
1:23:00	ちょっともう 1 回ちょっと整理して、多分、
1:23:04	ご理解いただけるということは、はい。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:08	そうか。そうだね。
1:23:10	それは評価をするときに、これをどう計算しても下がってるっていうことを言いたいだけの話だそうです。
1:23:23	そいつらを代表して、応力計算をするときにですね。
1:23:31	はい。
1:23:32	いいですか。わかりました。はい。
1:23:39	次なんですけど、これはちょっとまたですね、場所については先ほどお話あった、
1:23:46	あと江藤ポツ目でという収益を 2Hz 以上、
1:23:51	入って、
1:23:52	書いてるんですが、これ、
1:23:54	これはまた多分、予約もそうだし、大体交代の定義って難しいんだけど大体よく使うのは 20Hz というのがよく使われますね
1:24:05	建物のこういう周期ってのは当然、原発だと 4Hz 減る数ですから、当然それよりも大きいということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:14	ちゃんとした定義はないと思います。定義というかその 21 だったら、 19 だと駄目なのかという話はないと思うんですけど、交代ということで 考えているので、その
1:24:25	ベースとしては、その 20Hz っていうのがあるので、そこで 20 ケース 以上っていうふうに書いてある。
1:24:42	うん。
1:24:47	今、
1:24:59	R z
1:25:00	打撲剛体分かったんですけども、これらの燃料要素とか、その三つのぶ つかっものが、
1:25:08	何でフェーズっていうことが
1:25:11	いえるのかっていうのは、京大の釜江で先ほどそれ少しすべてのものに 対してこういう周期をお示し、示したというお話があったので、その中 で、
1:25:22	どういうどういうモデルモデル化をしたときに、それが、
1:25:26	こういう所見はどうなのかっていうのもあわせて、すいません、5 週間 示せという話があったわけで、そこで、その根拠はわかりました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:37	次ですね。
1:25:40	(3) です。
1:25:42	高久さんなんですけど、小牧町もまたこれで示した。
1:25:59	詰めですかねこれはですね今ドラフト版と同じだと思うんだと思うんですが、一体モードの固有周期が 20 Hz 以上の状態とならないことってちょっといまいわかりませんので、これもあれですかね、ちょっとすいません。
1:26:13	三つ相対濃度の行ったもの保修課日本酒異常の有無とならない、ならない根拠、
1:26:19	ならない根拠はいう。
1:26:22	40° いっぱいある。配管系ですから、はい。
1:26:26	もうその計算結果、こういう解析の結果を信用せざるをえないんですけども、
1:26:33	どういったらいいですかね。もう明らかに、いや、計算をしてるんですよ。どういう意味です。1 回分 50 人月以上の剛体とならない。これは配管系の話ですよ。そうですね。これは先ほど言いましたように 1 時から 7 時まで。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:47	こういう書類出してますよね。うんそれ、これがこれから詰めたい結果ですよ。そうそう。
1:26:55	一時から4時が、その13あるんで。うん。それで、交代にならないっていう、そうそう。そういうことですねそれぞれのモードが。
1:27:08	ついでにちょっと教えて欲しいんですけど。
1:27:12	こういう周期が20Hz、例えば製材作業が0.0。
1:27:19	書いてあると。
1:27:21	こういう状態のものっていうのは、こういう値解析結果をすると、1.20ですか、1.73時にもなります。だから先ほど言うと、中だけでできます。例えば、今、
1:27:35	清大社が一つしか、0.025って言ってんのは、これ一重だけ1失点で、
1:27:41	こういうモデルがちょっと事実です。なるほど配管がこうバーッとついでるとこれを実際モード解析すると、当然さっきみたいに、ここがよく揺れるモードと、この辺を揺れるものと、いろんなものが出てきます。だから、
1:27:52	そのモデル化の自由度だから、うん、引っ張られたり曲がったりってそういう自由度を入れてますからその中で出てるわけですから、全部、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:01	一つだから、医師麻生麻生ですけど、配管のやつは、結構複雑ポイントからいろんなこういう、ありがとうございます。
1:28:14	貴重な嘘なのお話を考えると、配管系、結構長いっぱいものの配管系に関しては、むしろもう、
1:28:26	5にならないのがあるんで、当たり前のような話で、だからこそ、このような解析とかをやって、加地元の
1:28:40	そうですね補充種のを、解析に評価を行っているっていう理解で、0 カマエです。ただこれは、
1:28:50	電力さんも一緒なんですけど、こういう配管系置けと耐震する時に、一つはあんまりモードを燃やすと、いろんな応答計算しなきゃいけないので、要するにサポート。
1:29:00	サポートを小刻みにとれば、いっぺん剛性上がりますから、当然これだってもう少しサポートに回るよりも、もっと間にいっぱい入れていけば、多分 20Hz 超えると思います。
1:29:10	それはテレビっていう話でピチャピチャもそうであれもう、後あれを剛体にした上でスタティックに計算するわけですよ。だからそういう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:19	サポートの位置から家設計をする場合もあるし、もうこれはどうしても効率が見つからないというときはもうどうしようもないので、こういう形になる。
1:29:27	それでピッチそうですそうそういうあれが一番簡単で我々の配管設計するときは、そっちからサポートの間隔を決めるんですけど、
1:29:34	もうこれ古い話で、そういう時はしてないので、サポートをふやすとまたいろんなことがあるので、もうやめたんですかね。
1:29:46	次四つめのポツなんですけど、そのポンプ5徹底。
1:29:51	さらに江藤生命線数が1190件で、
1:29:58	それはこれ益子南雲。
1:30:01	もうこれ、オンライン鉛直成分性成分で1%減衰って言ってるんですけど、何か理由がね、原則これ受け側の話なので、例えば建物だと、もちろんご存知のようにRCだと大体5%ぐらい減衰取れるんですね。
1:30:17	てことだと1%鵜飼換気系っていうのは、これは鋼構造物なので、
1:30:23	これ
1:30:24	慣用的に、ああいうものは1%でもその減衰を小さくするってことは、保守的なので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:29	1%使えます。
1:30:31	具体的にほんまにそうかっていう話はちょっと一つね。
1:30:35	はい。RCはご存知ですよ。
1:30:38	RCのこのビルなんかは5%使うんですけど、
1:30:43	そういう意味で一番、規制庁の水ちょっとこれ安全、原子力安全、いや、この指針の中に、
1:30:53	にも配管系の設計用減衰、減衰定数はいこれのこれを奏するかなと思っ たんです。これちょっとごめんなさい。
1:31:03	そうじゃなくて、
1:31:05	恩田今井寺跡米とかあるんですけど、
1:31:12	じゃなくて、
1:31:13	いや、そのあともその設計減衰定数ですから配管系ですから多分
1:31:18	こういうものを使ってやるんだけど、それ一応それで1%っていうのは 我々のイメージでは
1:31:26	そういう鋼構造物の場合、NEIMA件数小さいので、
1:31:29	これは多分どこでも、どこの発電所でも、機器のところは多分1%と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:36	<p>を使って運用するわけじゃない。いや、多分契約とか、当然電力さんは当然そういうものは多分、それはそれでいいと思います。そうですね</p> <p>1%</p>
1:31:46	<p>だったらそうなんです。減衰したポンプみたいのがこれですとこのファンが存在が多分ないと、ないのかな。うん。ないんで、これの2類にあたって1にしますっていう、それと、そこまでそう考えてないんだけど、</p>
1:32:03	<p>は、あの後だけですょそういうものなんですね。</p>
1:32:07	<p>基準があるところを、その3年以上も含めてない%減衰でやるのが一般的ですよ。だからそれを使用しましたよ。</p>
1:32:21	<p>兵頭のカマエですそれも、その一つはそういう契約みたいな発電用発電原発ですよ。ああいうところの規格基準も、その建物は5%で、機器配管1%っていうのは、</p>
1:32:35	<p>よく会社で使われてるので、それを理解したという</p>
1:32:39	<p>ところです。</p>
1:32:40	<p>多分背景にはこういうものがあって、おそらくですけど、</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:47	基本これが根拠になっていると思うんです。ですがそれがもう1点、これが根拠になってる。いや、私も、
1:32:58	それになってるところはあるかもしれない。じゃ、根拠を出してくださいっていうことになると、これが多分、
1:33:06	それ採用してるのであればそれ書いてもらった方が資料話したんですけど変ですよ。非常に保守的な話なんで、うん。別にあれすることないので、
1:33:19	保守的なのが
1:33:24	はい。
1:33:29	後は、
1:33:31	ソフトロー男子の評価に対して水平成分をNSとEW成分を考慮するっていう、
1:33:39	いやもうこれはもう保守的なご指摘だけです。大きなをとって包絡させてますんで、
1:33:45	厳密に言えば、これ日本語だけで、NSアップダウンって、日本方向成分で別々にやってもいいんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:53	それはね、でもそうじゃなくてももうあんまり計算の煩雑性もあるし、だからもうその最大値を包絡させて、誘導させるということですから、
1:34:02	まずもそれだけです。
1:34:09	です。
1:34:16	ちょっとこれ、そのうちの生産債権評論の一次系配管の固有会そういう試解析は1から4号炉、1から4号炉はやってるんですけどそれはS29追加の話ですね。
1:34:29	あ、えっとね、ごめんなさい。城野河井ですけど、ちょっと、
1:34:35	それ。
1:34:36	だけでもないんですけども、
1:34:40	本来は、はい。
1:34:41	これ、今後正解があるとしたら、当然モードごとの刺激係数みたいな求めて、どのモードが一番、この経緯に対して影響あるかということも出した上で、モデルはないとするんですね。
1:34:54	そうじゃなくて今回は、
1:34:56	一番、このモードに対して、どれぐらいS s 10が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:01	上回るのかっていうのを出した上で、その一番上のところを、どれがどのモードは置いといて、すべてのモードが、
1:35:10	これぐらい多くなるということであったので、今おっしゃるように、これ例えば11ページ見ると、もうちょっと交渉の方がちょっと緑が大きいところありますよね。
1:35:20	ありますよね。だって多分これ、これ見ても多分1.37ぐらいにならないと思うんですけども、本来はここに70まで、ほんま言うてもっとこれ、全部の事実を入れなきゃいけない、本当は具体的にはそうですけども、
1:35:33	ちょっと4時間で止めてしまったというところでちょっと誤解があったんですけど、もう少し
1:35:38	左の方工事も入れて、その1.3というものをすればもうそれは模範解答になってですね、そんなに保守的にやる必要が私はないと思うんですけども、
1:35:49	すべてのモードが1.3倍ということですから、これはご覧になったように11なんていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:55	下回ってるわけですね。うん。それがこれが収益係数が多ければ、ほとんど1人で決まるものを、こんな工事のところで決めてしかもそれを倍数してると。
1:36:04	それだけでも非常に保守的だということをご理解いただけると思うんだけどわかりました。はい。ちょっともう少し工事のところも入れて、今の1.3倍というのが、
1:36:12	すべてのここに出してるモードですね。もうこれ、これ見るともう、これ0.01ですが、020.03年040.05、
1:36:21	0.05というのは20Hzですから、
1:36:23	もうこれの下はもう、この緑は起きないんですよ。だからもう20Hz以下だけを見とけばいいという意味は今、持田さんおっしゃったように、
1:36:33	ちょっと語った記載が主体なんで4時までしか認めてないけども、単純に、
1:36:41	下の、はい。すいません。ありがとうございます。もうちょっと影響するところまで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:46	それが本当に影響するかどうか、今は評価をしてませんが、はい。 はい、わかりました。保守的認定は別に、
1:36:53	はいないということは、はい。
1:36:56	これあの次なんです。杉尾桑野。
1:36:58	それも河合先生、すいません、災害時を 1.3 倍程度っていうふうに言っ て同程度っていうのは、曖昧で明確な数字って何か出していただいて ね、京大のカマエですいません。
1:37:17	先の 11 ページの、この緑と赤の、これ火を出せば、はい。バリューで ますので、ですよね。もっと、これですねオートスペクトルを計算する ときの周期の、
1:37:30	値ですね、周期ごとにいろんな細かく 0.01 からずっとこう計算してるん だけど、
1:37:35	本来はこのモードの次数のところの周期で応答計算をすれば、ジャスト にその点の応答倍率はわかるんですけど、
1:37:46	それぞれの計算点が違うので、磯さん、これこのところです。なるほ ど。だからその辺の数字を見て私がぱっとこう 1.3 倍が最大だと思った んですけど本来は、もっと正確に言えば、モードのところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:02	モードのところのオートスペクトルを求めればもうそれ割り算すれば出るはずの話ですから、ちょっと
1:38:10	それエクセルでちょっとあるので、ちょっとその辺もう1回オートスペクトル、ごめん日数のところで、はい。モードの周期のところで応答スペクトルを計算すれば、
1:38:21	もうダイレクトにそれを割り算すれば、もうスペクトル比がずっとこのようにをかけますので、ちょっとそれ作ります。程度、はい。ちょっとお願いします。はい。
1:38:39	伊達江藤規制庁も積雪単純ミスだと思うんですがすいません。衛藤。
1:38:44	個数の下側ですね、Bクラスの動力費の計算資料でいただいているのは、0.5。
1:38:53	8、
1:38:55	0.585、間違えすいません、これ、ごめんなさい。
1:39:00	はい。
1:39:01	はい。
1:39:02	そっか。そうそう、何か。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:04	0. えっと、指標の方があるので、表が正しいですね、要は設工認取ってききましたので、7.56 ですいません。
1:39:19	文章までやってます。
1:39:23	申し上げる。
1:39:28	もっと良くなったから反対だとか、
1:39:58	ちなみに衛藤布施星です。
1:40:01	7 ページ兵庫の
1:40:05	ごめんなさい、発生位置の図って何か表に書いてあったように必ずとかに、これは設工認はそうなんですよ。すいません。
1:40:12	ごめんなさい。ちょっと、リハをちょっと知りたかったんですけど、そういうことです。
1:40:26	はい。
1:40:27	あとはちょっと説明していただいている内容についても多分、
1:40:31	これらの回答になっている。
1:40:37	はい。
1:40:38	対応してください。
1:40:44	この後、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:49	はい。
1:40:50	教えてください。いえ。
1:40:52	それを図 5.9。はい。
1:40:56	これは、
1:40:58	それから谷川、これ、応答スペクトルって言って、普通は我々地震の時はもう地震発生ってありますよね。この、
1:41:08	配管 1234 時のこの縦線と、この応答スペクトルを合わせることでできるのか、わかりました。まず応答スペクトルというのはまず、
1:41:20	これ当然地震ってこういう入れたことありますよね。これが建物にどう影響するかっていうときに、こういうところに、例えば机とその机の上 にいろんな周期の違う。
1:41:30	こういうモデルがあるとしますよね。これを地震入力地震動にするわけですね。
1:41:35	そうずっと、よくやるとかいう変数がありますよね。そこの周期が 0.1、次のやつは 0.20. 3 としますと、この、これがこれ、ある入力に対して一番最大に売れたところを、値をここにプロットしてるわけです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:48	それで、この波を見ると、これだけ見ると、この地震はは、この辺の周期の建物に施設に影響を与えると。
1:41:57	要するに共振するような、そういう放送スペクトルは、どの種この地震動がどの周期体の建物施設に影響を与えるかを見る、あっという間に見えるわけですね。
1:42:08	それが応答スペクトルです。それでなぜこの1のところ、モードのところ、縦引いたかという、この今の配管が一次モードのところ、どれぐらいの揺れを、
1:42:18	するのかというのを見るためにちょっと縦軸を引いたんですね。
1:42:21	それだけです。
1:42:23	藤理事に 30、要は
1:42:28	プールのアンケートを1日30重なるとより共振が、そのところで、その一次モードの一次モードで入れるさっきもう一つありましたよね。
1:42:38	由井れる時の地震力が、この縦軸の値になるわけです。
1:42:45	そういうことです。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:47	だから、この絵で言えば、もっと周期の長いものだとほとんど地震力を 受けない。もうそれはそれはふらふらってほとんどこういう地震力です からもうほとんど入れないということですね。
1:42:57	それが共振するような領域に入ると、ばーっとう入れる。
1:43:01	わかりました。ありがとうございます
1:43:04	もうそれもわかってたから、多分いろんな議論があれなので、なかなか こう、我々はちょっとそういうことばかりやっていますから、あれなんだ けど、
1:43:12	北岡です。私もちょっと同じところのづらいですね。15で、それから 外されてる前の図なんですけれども、左上の関連を見たときに、
1:43:26	オレンジと、
1:43:28	水色の線というふうに言ってたんですか。オレンジとは上二つですね。 そうです。はい。それがちょっとこの図から見えないんですよこれ見れ ません。見えないんだと見えるんです。
1:43:41	こっちがね、ちょっと待ってくださいね。下がっちゃってるんですか ね。
1:43:47	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:48	うん。その可能性高いです。うんうん。うん。うん。ピンクのやつに、 大体、
1:43:57	重なっちゃってるっていう。だから、町のカマエです。さっき言いましたように、もう1回と近いと。うん。城地区の上下動ですから、もうほとんど同じように入れてる崩落しても多分同じ形、そういうことですね。
1:44:19	ああ。
1:44:29	えっと、括弧2、
1:44:33	どうぞ。
1:44:40	とか、なるほど。うん。
1:44:42	うん。
1:44:42	だから、昨年の方は、すいません抜けてました。
1:44:46	入れるだけで、
1:44:47	はい。
1:44:49	ごめんなさい。はい。そうでないと片手落ちですね。申し訳ございません。
1:45:08	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:11	1.3 をかけたりとかしても、一度ないんですよっていう。
1:45:17	はい。はい。城野カマエとその通りです。
1:45:31	あれ。
1:45:33	八尾川添。
1:45:34	はい。
1:45:36	長さんの方なんかは、特に3章のカマエのところでございます。わかりました。
1:45:40	では今回、
1:45:45	えーと、
1:45:47	次の、
1:45:48	出してもらうものを確認。
1:45:51	まず私の方から、はい。で、
1:45:54	ですよ。はい。全体の中で、
1:45:58	まず私の方からですね廃棄物処理等のすべての設備の劣化について、
1:46:05	これを共有する共用しないというのをリストアップすべてリストアップしてマルバツを入れて、月なバスの理由を、13名にしていますということをさせていただき、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:16	いうことだと思います。まずそれだけかなと思いますけれども、
1:46:24	ちょっと補足します。再処理等の中だと細かい機器とかいろいろあると思うんですけど、うちはやっぱり対象として説明して欲しいのは、あくまでちょっと役席購入の対象。
1:46:39	はい。うん。そこに限った中での現設備に対して、共用にするんですか、というようにしないんですかしないんだったらペケしない理由を教えてください。
1:46:53	はい。
1:46:56	どこまで。
1:46:58	形状は、
1:47:02	送っていけば、
1:47:05	こうやってリースをしてからという価格になりますかねどうですかね、リストをさせていただいてから、その中で、例えばその建物、建屋をどうするかということで、
1:47:16	どう考えるかっていうのは何の方で出して、そういうことでよろしいでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:21	次回かどうかおいといて宿題としてあるかどうかというのがあったんです。うん。それは、次の段階での、多分これを見ていただいてからか なっているふうに思ったんですが。
1:47:33	よろしいでしょうか。
1:47:37	一応宿題ということで2月1日をめどにまとめたいというふうなことで ございます。
1:47:46	はい。はい。京大のカマエです。西の方はですねちょっと幾つかいただ いて、この、この資料の適正化といいますか、ちょっと間違ったところあ りますんでそれを直すということと、
1:47:57	一つはここで対象としてる設備、施設の
1:48:02	がどこにあるかという、ポンチ絵的でもいいので、どこに支持されてる かというようなそれがわかるようなとともに、それぞれのこういう周 期、
1:48:11	ですね、そういうのは
1:48:13	一緒にとということで、
1:48:17	これと、
1:48:19	あとは、今の話ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:23	応答倍率法の 1.3 倍というのは非常に曖昧なので、もう少し精度を上げて、
1:48:30	程度じゃなくて、これはもう 1 回計算をし直してその辺、
1:48:35	スペクトルの絵のような形で、最大値がわかるようにしますっていうのと、
1:48:42	あとモード 4 時までしか書いてませんでしたけど、もう少し高次まで入れて、少なくとも S S E がちょっと上回ってそうなところを、があれば、
1:48:54	それを下回ってればもう文章工事はすべて小さいということなので、ちょっと、
1:48:59	例えば 11 ページの図を例にすると少し左側、周期の短いところのモードもとりあえず入れるというようなことで、より 1003 倍。
1:49:10	かどうかわかりませんが、それがより透明性を持って、
1:49:14	示せるような形にすると。
1:49:17	いう。
1:49:19	こと。
1:49:22	でしたね。あとは、衛藤建設の今後、1%減衰を今回今回それもいい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:32	ああそう。これ、この資料はもうすべて先ほど、
1:49:36	谷本さん、名越、ご指摘いただいたのでそれとか、そういうケアレスミスは直し、
1:49:41	探します。
1:49:45	今、計算しますっていう、おっしゃったんですけど、これの計算、そんなことはありません。今、ちょっと細かいこと言うところのオートスペクトルを計算すると、当然に山地でいろいろ計算、
1:49:58	何秒刻みでこう計算してるんですね。はい。それと当然今の一次モードの周期、
1:50:03	それをねらって計算したわけじゃないので、今メノコでこうちょっとずれても、大体最大値が出ちゃったんですけど、
1:50:09	一次モードに地元のところの周期で応答スペクトルを計算すれば、もうそのまま費用を出せば、
1:50:15	場所わかりますから、もっと精度を上げると。はい。そういう意味です。はい。だから、そんな計算はもう、すぐできますから、もうそれはそれは時間とかですね、11 ページ目のグラフ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:28	このグラフ、これでも、これはもうデータがすでにあって、それで今は多分、権限が効いている何時までのところ、
1:50:39	1.3倍っていうのを出しているんだけど、さらに、点検が結局左側で2度リッカーが大きいところもあるので、そこに対してエクセル
1:50:50	できちんとその値とかも拾ってみて、数値を出せるので、
1:50:56	次回、これらのデータはすでにあるので、すぐに出せますっていう。すいません。ちょっとだけ違って申し訳ない。今のぱっと見通りは、計算する時はこれ連続量になってますけど、当然点点をつないでるわけですね。
1:51:11	その辺のレーダーというのはある周期刻みで計算してます。
1:51:14	その中刻みというのは今の次元に戻って、0.16何とかがありましたよね。その周期で計算した応答スペックじゃないので、
1:51:23	そのモードのところでこれ数字が、
1:51:26	今ここはひょっとしたら、
1:51:29	計算の点と点の間かもしれない。そそれ兼ね備えてるだけの話なので、生活正確に言えば、そのモードの周期のところでO W T Fスペクトルを計算すれば、ピット費用や、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:39	比を出せばもうその倍率が、
1:51:42	そのすぐできる。大竹さん、もうちょっと大戸支局長はすぐ計算なります。それ大丈夫ですか。多分そうなんですよ。
1:51:54	それはそこまで求めるものですから、むしろが必要なので、
1:52:01	こちらです。ちょっと今1日のが、ちょっとこっち事思われるんじゃないかなと思って、それをちょっとお願いしようと思ったんでちょっと。
1:52:10	今のやる話とかも、ちょっといろいろと図面とか何とかで、
1:52:15	ちょっと
1:52:16	手の方もあるので、
1:52:18	1日、
1:52:19	というのは、ひょっとしたら、
1:52:21	いや、追加で判断をしたいので、それって今即答、
1:52:29	これ
1:52:31	補正がかかっているので、当然補正には当然、
1:52:35	こちらも当然必須なんですけど、できないんですけどこっちはその成立性の話で、実際は承認されたところは何度も議論させてもらってますけど、終わった後に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:47	そんなの会合じゃなくて、ちゃんとした評価をしてっていう、これ後段 規制の中でってということなので、これ、どの程度までの
1:52:56	ことが、補正の
1:53:00	説明してもらえばいい。
1:53:03	はずでしょ。いや、だからもう補正はもうこちらクリアになれば、して もいいという話であれば、だったら
1:53:10	わかりました。はい。ちょっとそこが気になったので、そういう時に新 川林法制の先生と言われてんだけど、
1:53:17	それは別に切り離してこっちがうまくいけば、うまくいけばというご了 解いただいたら、補正ができる。
1:53:24	そういう意味では高良でこれを遅くするってつもりはないので、何とか 1日跳躍できない、なくても、それに近いところで何とか+にします。
1:53:35	ちょっと使えないけど、
1:53:38	この名前である程度、
1:53:41	お芝居という
1:53:43	個人的には今日、私、
1:53:46	ほぼ、今回もありますけど、確認できたというふうに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:52	完全に切り離していいというわけではなくて、長く思っていますので、
1:54:02	追加の計算ですとか、そういったものはいらなかなと思います。はい。
1:54:08	そこをちょっと
1:54:10	合ってるかなと思ってたんですけど、そこ非常に有で我々も、そういうことがあるので、
1:54:16	そういう大きいそういうコメントをお聞きして非常に安心しました。なるほど。
1:54:22	今のやつ、ものすごく加わってやって、あまり意味がない。もうちょっと具体的に、このエクセルで、それぞれのお年を出して、メノコで割り出して、
1:54:38	もうこれ、別にその石井モードのところじゃなくてですね一番大きそうなところでやったので新本岡を非常にそういう意味では保守的だと思うんですけど、より精度を上げるとすれば、おんなじところで計算したりして、
1:54:51	割り算すればいいって話。それがそんなハード高くないので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:55	そんなところであんまり報道とか、
1:54:58	曖昧な言葉を使うよりはもうちゃんと計算した方が早いので、それやります。はい。
1:55:02	ただ大きな間違いがないということで安全上は問題ないということだけはおっしゃって、
1:55:09	すいません。
1:55:10	よろしいですか。
1:55:12	はい。衛藤。
1:55:15	これですねK rの衛藤主幹ありがとうございます。どうもありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。